

<p>事案名</p>	<p>宇都宮市の事案（栃木県9-3）</p>
<p>分類</p>	<p>発見・被災・掃海等処理 現在の状況</p>
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）」平成15年10月9日〔1〕 ・『朝日新聞』昭和55年1月14日〔2〕 ・『栃木新聞』昭和55年1月14日〔3〕 ・『下野新聞』昭和55年1月14日〔4〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔5〕 ・宇都宮市ホームページ資料〔6〕
<p>資料内容概要</p>	<p>昭和55年1月に栃木県宇都宮市の宅地造成現場の洞窟内で旧軍の毒ガス弾等が発見され、自衛隊により処分された。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和55年1月12日に、宇都宮市の宅地造成現場の洞窟内で大量の爆弾類が発見された。翌日現場を調査したところ、旧陸軍の催涙ガス弾200個等が発見された〔1〕〔2〕〔3〕〔4〕。 ・洞窟内の地表上の爆弾類については昭和55年1月21日に自衛隊が撤去を完了し、3月31日までに洞窟内の投棄爆薬類の発掘及び処理作業実施と、発掘した投棄爆薬類の安全化及び運搬を行った。発掘した投棄弾薬類については、コンクリートで固め、5月9日に海洋投棄処分をした〔1〕。 ・栃木県宇都宮市の洞窟内で発見された、93式持久ガス現示筒（くしゃみ剤ジフェニルシアンアルシン）184本は、昭和55年3月3日～13日に自衛隊15名がコンクリート被覆で密封し、海洋投棄したと記載されている〔5〕。 <p>○現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧軍の毒ガス弾等が発見された宇都宮市の宅地造成現場は、現在住宅地になっている〔6〕。